

【子育て支援住宅の整備】

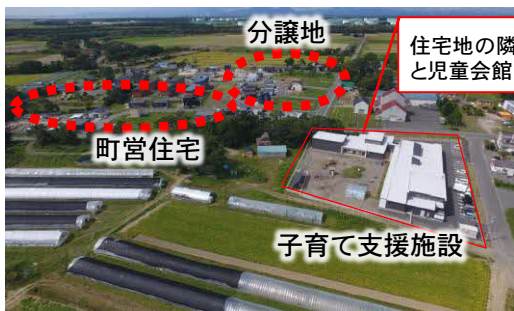
子育て世帯の定住促進に配慮した整備



町営住宅かみあつまきらりタウン団地 (厚真町)



住宅内部



道営住宅であえる常盤団地 (北見市)



【ユニバーサルデザインによる公営住宅】



市営住宅まちなか幸団地 (紋別市)

◆車椅子でも使用可能な流し台



◆介助しやすい広さや車いすでの使用に配慮した洗面所



体勢を保持するためのL字型手すりの設置

取り外し可能な間仕切 (身体状況の変化に応じて介助スペースの確保を可能とする多様性への対応例)

誰もが安心して暮らせるまちづくり

主要要望箇所

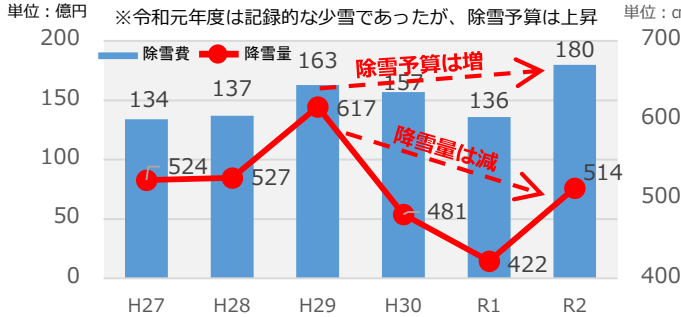
●冬期における安全で快適な道路交通の確保

- ・冬期交通確保のための除排雪の充実
【道内全域における除排雪の充実、雪寒機械の更新・増強（小樽市など）】
- ・鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実
【道内全域】
- ・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備
【国道242号道道本別留辺薬線交差点改良（本別町）、東川東神楽旭川線（東神楽町）など】
- ・地吹雪・雪崩対策など、冬に強い道路施設等の整備
【国道44号根室防雪（根室市）、国道238号紋別防雪（湧別町・紋別市）、江別奈井江線（新篠津村）、八雲北檜山線（八雲町）、根室半島線（根室市）、稚内幌延線（稚内市）、小向元紋別線（紋別市）など】

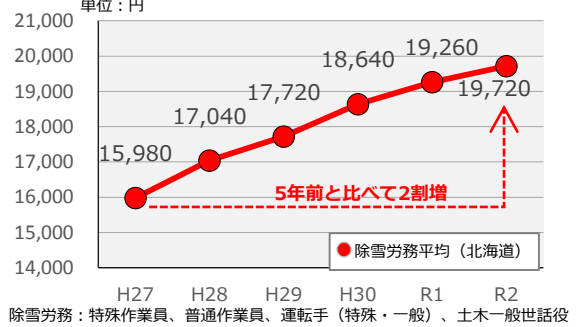
▼除排雪の現状と課題

○除雪予算の推移（H27～R2） ※R2の除雪費は過去5ヶ年の平均値から算出した見込額

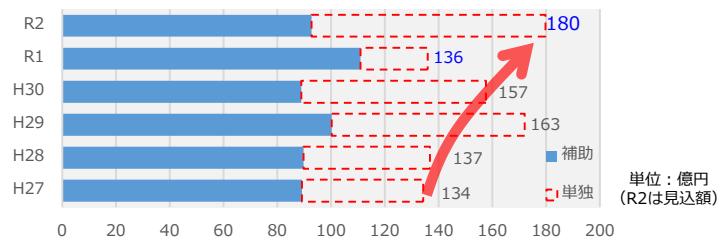
◇労務費や諸経費率の増加により除雪予算は年々上昇



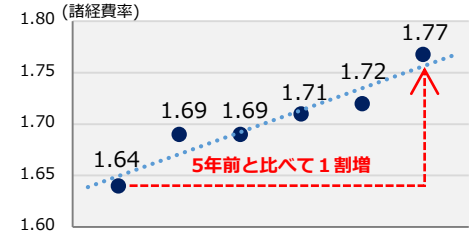
◇公共工事労務単価は年々上昇



◇除雪予算の内訳 ※単独は増加傾向（道負担の増）



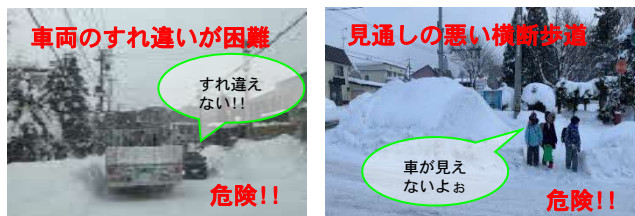
◇近年の除雪業務の諸経費率の推移



◇運搬排雪への影響（H29実績をR2単価で実施する場合）

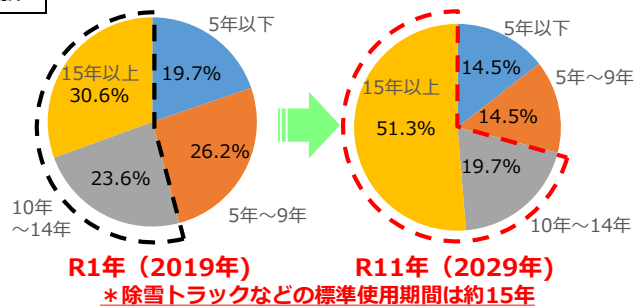
	H29	R2	H29との差	備考
全排雪単価	504円/m ³	703円/m ³	199円増	R2/H29=1.4
全道排雪回数	262回	188回	74回減	H29排雪額：10億円

◇除雪が滞った場合の道路利用者への影響



◇保有除雪機械の経過年数

※今後10年で老朽化した機械が71%を占める



安全な冬期交通を確保するため、除雪単価の上昇を踏まえた予算確保が必要

■除排雪に係る財政支援の充実・強化

冬期における円滑な交通確保のため、近年の労務費や諸経費等の上昇に伴う経費の増加を踏まえ、除排雪等に必要予算を確保するとともに、地域の実情に応じた交付金の柔軟な執行に対応すること。また、少雪時でも除雪業者が経営を維持できるような最低保証などの制度を創設すること。